

平成30年7月3日
日本銀行金融機構局
金融高度化セミナー資料

新たな地域産業創出への取組み ～にんにく・どじょうの産地化とブランド化に注力～



ちかくにいるから、
チカラになれる。

 秋田県信用組合

I 田舎ベンチャービジネススクラブの取組み



1 クラブ発足経緯・目的等

- (1) 平成22年2月、秋田県信用組合の北秋田市内3支店（鷹巣・森吉・合川支店）で、地域経済の活性化を目指し、会員企業相互の交流、事業発展と新規事業の立ち上げを目的に発足。
- (2) 会員資格は、北秋田地域に居住し、秋田県信用組合と取引があること、事業意欲が旺盛で、今後、事業拡大もしくはニュービジネスを検討中であることなどとした。
- (3) 建設業、農業法人などの経営者12名を会員としてスタート。
- (4) 平成26年、秋田地区と大館地区の2地区でも発足。
- (5) 平成26年12月、秋田県産どじょうの特産化を目的に「秋田どじょう生産者協議会」を発足。
- (6) 平成27年、「田舎ベンチャービジネススクラブ」を商標登録。
- (7) 平成29年1月、「秋田どじょう」の特産品化への支援が評価され、内閣府の「地方創生優良事例」で大臣表彰。
- (8) 平成30年2月、「にんにく」の特産品化への支援が評価され、2年連続で内閣府の「地方創生優良事例」で大臣表彰。
- (9) 平成30年6月、秋田県産にんにくの生産拡大・品質向上を目的に「秋田県にんにく生産者協議会」を発足。

I 田舎ベンチャービジネススクラブの取組み

2 主な活動内容

(1) 自己啓発

①有識者による講演・講話

- ・ 地方再生
- ・ 農業再興
- ・ 6次産業化
- ・ 休耕地の活用
- ・ 農業法人の立ち上げ
- ・ 秋田杉の活用・・・

②行政機関との情報交換（現状報告、指導・アドバイス）

③起業研究（当組合からの起業提案）

- ・ にんにく栽培
- ・ どじょう養殖
- ・ 自然エネルギーの活用
- ・ わらび農園
- ・ 薬草栽培

④日本農業法人協会会長（クラブ会員）の指導、アドバイス



I 田舎ベンチャービジネスクラブの取組み

2 主な活動内容

(2) 首都圏への商談会出展、物産展への出店



しんくみ食のビジネスマッチング展（東京・池袋）



FOODEX JAPAN（幕張メッセ）



東京・神楽坂（第一勧業信組取引先）での物産販売会



第一勧業信組秋葉原支店での物産販売会

I 田舎ベンチャービジネススクラブの取組み

2 主な活動内容

(3) 東京・地域ショップへ会員企業商品の出品



東京・戸越銀座商店街



東京・亀有

(4) 秋田県内での物産展の開催



営業店駐車場での物産販売会



ショッピングモール（会員企業）での物産販売会

Ⅱ にんにく栽培・加工事業支援

平成23年3月、「田舎ベンチャービジネスクラブ」会員企業である建設業者3社が、にんにく栽培を目的とする農業法人(株)しらかみファーマーズを設立。



1 参入動機・経緯

- (1) 公共工事の縮減と作業員の雇用維持
- (2) 田舎ベンチャービジネスクラブへの参加、意見交換
(会員からの助言・アドバイス)
- (3) 遊休農地、耕作放棄地の活用と地域貢献
(地域から農地を守り、活用して欲しいとの要望)
- (4) 生産地が一大産地の青森県田子町と気候が似ている

Ⅱ にんにく栽培・加工事業支援

2 生産支援

(1) 農業体験研修



(2) 栽培講習会

・栽培ノウハウを提供するなど、遊休農地等を活用した栽培普及



地域経済の活性化を応援します。

田舎ベンチャービジネスクラブ

会員
募集中

会長 上杉 操

後援 秋田県信用組合

理事長 北林 貞男

にんにく栽培講習会 開催のご案内

1. 日時 平成26年8月8日(金) 15時より
2. 場所 秋田県信用組合鷹巣支店 2階会議室
3. 参加人数 先着 20名様 (やる気のある方・素人大歓迎)

※お申込・お問合せは事務局(秋田県信用組合・鷹巣支店)まで

TEL 0186-62-1480

☆にんにくを植えてみませんか!
(株)しらかみファーマーズが栽培の
ノウハウを教えて、全量買取りい
たします。(次回8月下旬開催予定)

Ⅱ にんにく栽培・加工事業支援

3 販売支援

(1) 商談会・物産展出店



FOODEX JAPAN (幕張メッセ)



しんくみ食のビジネスマッチング展 (東京・池袋)



首都圏 (第一勧業信組・秋葉原) での物産展

(2) 高付加価値化を企図 (黒にんにくへの加工・販売)



白神フルーツ黒にんにく

Ⅱ にんにく栽培・加工事業支援

4 農業法人設立に伴う定量効果

- (1) 正社員7名、常用パート3~10名（農繁期30名程度）
- (2) 作付面積：5ha（平成23年）⇒13ha（平成29年）
- (3) 収穫量：16t（平成24年）⇒52t（平成29年）
- (4) 黒にんにく生産量：0.8t（平成25年）⇒10t（平成28年）

5 今後、特産化へ向けた取組み

- (1) 秋田県の園芸メガ団地整備事業により、秋田県北部での「にんにくメガ団地」構想（1億円以上の規模拡大となる種子、機械・施設等の助成）
- (2) 平成30年6月、秋田県にんにく生産者協議会を発足。
（現在の耕作面積31.8ha⇒平成30年耕作面積46.6ha）

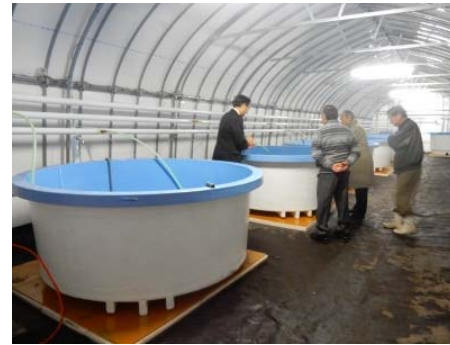


Ⅲ どじょう養殖事業支援

1 参入動機・経緯、理念

- (1) 日本にはどじょう文化があり、健康食品である
- (2) 輸入品が90%以上を占め、国内に特産地がない
- (3) 他の畑作との共存
- (4) 原野等を再生し、安全・安心な素材の生産

2 事業資金の支援（工事費や稚魚購入などの初期投資費用）



Ⅲ どじょう養殖事業支援

3 トップダウンによる迅速な課題対応



4 秋田どじょう生産者協議会の設立

(1) 活動運営費の寄贈



Ⅲ どじょう養殖事業支援

4 秋田どじょう生産者協議会の設立

(2) 課題解決（低コスト化）

- ①どじょう餌の開発
- ②人工孵化

(3) 商標登録

- ①『日本のふるさと 秋田どじょう』
- ②『水土里（みどり）を育む秋田どじょう』

(4) どじょう選別箱の贈呈



Ⅲ どじょう養殖事業支援

5 認知度向上への取組み

(1) 秋田どじょう試食会



(2) 「秋田どじょう」ポスター等の作製



バッチ・タイピン



タオル

水土里を育む
 秋田どじょう

秋田どじょうの
安全・安心宣言

私たちは、

- 一、生活雑排水、農業用水は使用しません。
- 一、地下水、伏流水を使用しません。
- 一、餌に抗生物質は使用しません。

秋田どじょう生産者協議会

【後援】秋田県信用組合・田舎ベンチャービジネスクラブ

小坂町 目時企画 TEL.090-1069-4940	上田町 北林 孝作 TEL.0186-77-2162
大館市 大和産業(株) TEL.0186-42-5560	雄勝町 (株)白神陶どぜう TEL.090-4553-8946
(同)マツタ食産 TEL.080-3195-3754	にかほ市 シンセイ科学(株) TEL.0184-37-3588
(株)グリーン白神 TEL.050-3624-5377	大館市 佐藤 芳雄 TEL.090-3125-3497
杉沢 勝博 TEL.090-5842-5194	仙北市 大澤 清 TEL.080-6020-7500

Ⅲ どじょう養殖事業支援

6 販路拡大に向けた取り組み

(1) 商談会・物産展への出展



しんくみ食のビジネスマッチング展への出展（東京・両国）



秋田どじょう即売会

(2) どじょう養殖講習会の開催



Ⅲ どじょう養殖事業支援

7 今後、特産化へ向けた目標

- (1) 一次産業事業としての自立
 - ・首都圏への出荷先・量の拡大に加えて、秋田県内の飲食店や加工品を販売するショップへの出荷を増加させること。
- (2) 秋田県内での「どじょう文化」に定着
 - ・地元と観光客が一緒に楽しめる「どじょう文化」を定着させることで、観光業への波及も含めた地域活性化の実現



どじょう養殖の支援が評価されて
「金融機関による地方創生の優良事例」受賞
(平成29年1月12日・内閣府のまち・ひと・しごと創生本部)